



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東
コード番号 8118 URL <https://www.king-group.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 坪田 隆宏 TEL 03-5434-7282
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,101	△1.9	638	△15.3	721	△12.0	583	35.3
2024年3月期第3四半期	6,217	2.1	753	△1.2	819	0.7	431	△21.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 664百万円 (△15.1%) 2024年3月期第3四半期 783百万円 (32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	36.51	—
2024年3月期第3四半期	26.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	25,619	22,303	87.1
2024年3月期	25,604	21,905	85.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 22,303百万円 2024年3月期 21,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	1.8	1,120	12.8	1,180	11.2	780	46.3	48.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	24,771,561株	2024年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	8,775,775株	2024年3月期	8,804,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	15,981,539株	2024年3月期3Q	16,200,363株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化によって雇用・所得環境が改善するなか、緩やかな景気回復が期待されましたが、一方で物価上昇の長期化への懸念に加えて不安定な国際情勢や為替相場など、依然として懸念材料が多く、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、相次ぐ物価高によって衣料品に対する節約志向は継続しており、加えて、記録的な残暑の影響による秋冬商材立ち上がりの苦戦もあり、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力すると共に、「売上高の拡大」を最重要課題として、徹底した新規開発の強化と既存ショップの売上拡大、収益性を重視した諸施策の実施に加え、2024年秋冬シーズンから新ブランド「LETICIA（レティシア）」の展開、またSNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に注力してまいりました。加えて、店頭運営力の更なる向上を図ると共に、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化にも努めてまいりました。

その結果、売上高は61億1百万円（前年同期比1.9%減少）、営業利益は6億38百万円（前年同期比15.3%減少）、経常利益は7億21百万円（前年同期比12.0%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億83百万円（前年同期比35.3%増加）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

（アパレル事業）

「上等・上質＝プレミアム」に強くこだわった付加価値の高い商品力の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、「売上高の拡大」を最重要課題として、徹底した新規開発の強化と既存ショップの売上拡大、収益性を重視した諸施策の実施に加え、2024年秋冬シーズンから新ブランド「LETICIA（レティシア）」の展開、またSNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化に取り組んでまいりました。しかしながら、記録的な残暑の影響による秋冬商材立ち上がりの苦戦もあり、売上高は47億26百万円（前年同期比3.5%減少）となりましたが、営業利益は7百万円（前年同期比94.9%減少）となりました。

（テキスタイル事業）

企画提案型ビジネススタイルの更なる進化を目指して次世代人材を育成しつつ、既存主力先の深耕化と次期主力先の開発強化および諸経費の削減に取り組むと共に、引き続き「意匠力・提案力・対応力」をベースにテキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は6億39百万円（前年同期比7.9%増加）、営業利益は66百万円（前年同期比22.8%増加）となりました。

（エステート事業）

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の更なる有効活用に努めました結果、売上高は7億35百万円（前年同期比1.4%増加）、営業利益は5億69百万円（前年同期比3.0%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は256億19百万円となり、前連結会計年度末比14百万円の増加となりました。

流動資産は127億7百万円となり、前連結会計年度末比2億68百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少と商品の増加によるものであります。また、固定資産は129億12百万円となり、前連結会計年度末比2億83百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加と差入保証金の減少によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は33億15百万円となり、前連結会計年度末比3億83百万円の減少となりました。

流動負債は15億77百万円となり、前連結会計年度末比4億76百万円減少いたしました。これは主に、未払金と未払法人税等の減少によるものであります。また、固定負債は17億38百万円となり、前連結会計年度末比92百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は223億3百万円となり、前連結会計年度末比3億98百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、87.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想通りに推移しており、現時点においては、2024年5月7日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,800	10,295
受取手形及び売掛金	820	774
電子記録債権	5	※1 18
商品	1,178	1,435
原材料及び貯蔵品	33	39
その他	142	147
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	12,975	12,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,271	2,270
土地	6,480	6,480
その他 (純額)	219	212
有形固定資産合計	8,971	8,963
無形固定資産		
	174	163
投資その他の資産		
投資有価証券	2,746	3,087
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	7	6
差入保証金	513	478
その他	230	226
貸倒引当金	△16	△14
投資その他の資産合計	3,482	3,785
固定資産合計	12,628	12,912
資産合計	25,604	25,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※1 511	582
有償支給に係る負債	41	58
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	100	100
未払金	303	115
未払法人税等	263	38
未払消費税等	99	24
賞与引当金	161	60
役員賞与引当金	18	13
その他	175	204
流動負債合計	2,054	1,577
固定負債		
繰延税金負債	398	492
長期未払金	166	161
退職給付に係る負債	109	102
資産除去債務	127	129
長期預り保証金	842	851
固定負債合計	1,645	1,738
負債合計	3,699	3,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,137
利益剰余金	13,469	13,765
自己株式	△3,378	△3,367
株主資本合計	20,564	20,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,295	1,391
退職給付に係る調整累計額	45	30
その他の包括利益累計額合計	1,340	1,422
純資産合計	21,905	22,303
負債純資産合計	25,604	25,619

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,217	6,101
売上原価	2,582	2,620
売上総利益	3,634	3,480
販売費及び一般管理費	2,880	2,842
営業利益	753	638
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	52	65
投資有価証券売却益	—	4
仕入割引	6	5
貸倒引当金戻入額	1	1
その他	7	2
営業外収益合計	69	86
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	2	3
経常利益	819	721
特別損失		
固定資産除却損	2	10
減損損失	※1 64	—
特別損失合計	66	10
税金等調整前四半期純利益	753	710
法人税、住民税及び事業税	251	69
法人税等調整額	70	58
法人税等合計	322	127
四半期純利益	431	583
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	431	583
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	95
退職給付に係る調整額	△3	△14
その他の包括利益合計	352	81
四半期包括利益	783	664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	783	664
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月8日 取締役会	普通株式	275	17	2023年3月31日	2023年6月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月7日 取締役会	普通株式	287	18	2024年3月31日	2024年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、以下の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
電子記録債権	－百万円	0百万円
支払手形	14百万円	－百万円

(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

※1 減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
営業店舗及び 事業用資産	建物及び構築物 工具、器具及び備品 無形固定資産	東京都他	64

当社グループは、事業別を基本とし、賃貸用資産については、それぞれの物件ごとにグルーピングを行っております。

営業店舗及び事業用資産については、新規事業の撤退を決定したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は、正味売却価額により算出しており、正味売却価額はゼロとして評価しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間における減価償却費（無形固定資産、投資その他の資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	318百万円	301百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,898	593	725	6,217	—	6,217
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	11	10	—	22	△22	—
計	4,909	604	725	6,239	△22	6,217
セグメント利益	151	54	553	759	△6	753

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,726	639	735	6,101	—	6,101
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	11	22	—	34	△34	—
計	4,737	662	735	6,135	△34	6,101
セグメント利益	7	66	569	644	△6	638

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。